

ゆりはまにあ

2020年8月25日発行

梨狩り体験レポート



◆今年も、梨どころ湯梨浜町の観光梨園「波関園(なんぜきえん)」(湯梨浜町別所)の梨狩りが始まりました。

波関園では、8月1日(土)～8月25日頃までハウス二十世紀梨、8月25日頃～9月下旬までは露地での二十世紀梨、10月上旬～11月中旬までは新興梨(赤梨)の梨狩りを楽しむことができます。

ハウス二十世紀梨は、3月上旬から5月中旬までの間、梨の木を被覆して温度管理されるため、通常よりも早い時期に出荷することができ、お盆のお供えや贈答品に重宝される高級梨です。市場でも珍しいこの梨が園内では食べ放題!もちろん25日頃からは露地の二十世紀梨も食べ放題です。水分や養分を蓄えている真っ最中の梨を自分で選んで食べる贅沢♪*(●>_o<-●)〇*〇。想像だけでは我慢が出来ない(*'-'*)今年の梨を食べなくては!早速波関園に行って“梨狩り体験”をしてきました。



もぎたての二十世紀梨が食べたい!!

山陰のフルーツガーデン波関園は、湯梨浜町と三朝町を結ぶ県道29号線“波関峠”の途中にあり、湯梨浜町から行くと上り坂を上りきる辺り、左手に入口があります。

雰囲気のある昭和レトロな看板先のゲートを過ぎ、くねくね道を進んでいくと・・・梨園が見えてきた～。一面に広がる緑に“自然のエネルギー”を感じ、ゆっくりと深呼吸。駐車場に到着!まずは受付で手指の消毒をし、梨狩り体験料を支払い個包になったプラスチックナイフを受け取りました。

受付横にある緑のカゴは持ち帰り用の梨を入れるカゴで、ハウス二十世紀梨の時期は5つ入り1,500円、露地の二十世紀梨の時期は1,000円。それも自分で選んで収穫した梨を持ち帰りできるという贅沢なシステムなのです♪

これはぜひお土産も欲しい!ということで、1,500円でカゴを受け取り梨園へ向かおうとしましたが、ふと隣の部屋を見ると、収穫したばかりのハウス二十世紀梨の選果作業が行われており、少しだけ見学をさせていただくことにしました。

(※一般の見学は行っていません)
作業場には3人の女性が慣れた手つきで選果から箱詰め、出荷準備までを行っておられました。



▲波関園へのアプローチ道路 広いのでバスもOK



▲個包装になったプラスチックナイフ



▲受付にはコロナ対策の消毒&シールド



聞くと、波関園がオープンした頃からスタッフとして勤務されているベテランさんとのこと♪さすがです(๑*~*~)。梨についていろいろなお話を伺っていると、何やらうしろから声が!

「え?何ですか」と振り向き聞き返しましたが返答なし。よく見ると機械が喋っている(๑๑๑) この声の正体は昨年導入した“音声ランク選別機”。

梨の重さを選別しサイズを音声で教えてくれるという優れものなものでした。梨の入ったコンテナをそのまま選別機に乗せ、梨を一つずつ手に取ると、その梨が予め設定された重さのサイズに応じて「エル(L)」「サンエル(3L)」などと知らせてくれるという減算式設定になっていました。「やってみたい♪」と少しだけランクナビ体験。

一つ手に取り機「エム(M)」、また手に取り(これは大きそう)機「ヨンエル(4L)(やっぱり!)、また手に取り機「二エル(2L)」・・・

すかさずベテランスタッフが「一回コンテナに戻してもう一回取ってみて。」機「サンエル(3L)」(≧▽≦)人(≧▽≦)何と!スタッフに言われて機械が言い直した??私の取り方が良くなかったようですが、さすがベテランさん。見ただけでサイズが分かっちゃうのね。



▲音声ランク選別機

それでも今まで一個一個の重さを測って選別していたことを考えれば、機械の導入により作業効率の違いは歴然としているそうです。一段目が終わり、ネット緩衝材(白いアミのシート)を取って次の梨へ。機「規格外!!」そろそろ、ネット緩衝材は確かに規格外だよね~!と納得してしまうのでした(*'~')ｸｽ♪;

いよいよ 梨狩り体験♪

さあ、そろそろメイン会場に。園内係の西田さんの案内でハウス二十世紀梨園へ向かいました。園内では食べ放題。

今年も美味しい梨が出来ましたよ~



▲園内係の西田真人さん。趣味は筋トレ!

食べる分だけ収穫すること、紙くずや梨の皮は園内に設置されたコンテナへ、梨の持ち出しは禁止、この時期は他のお客様との距離をとっていただくこと等、園内のルールを守って梨狩りを楽しむことが大切です。大地にしっかりと根を張り、脈々と茂った枝葉の先には大袋がはち切れんばかりにどっしりと実った二十世紀梨。どうせなら大きい梨がイイ♪(σ>~<*)





さんざん選んで決めた今シーズンの初物。さっきの選別体験がもう役に立つなんてランクナビ様(´▽`)
 ありがとう。おかげで4Lか5Lくらいの梨を選ぶことができました。
 西田さんに教わった通り、「梨の実を袋ごと持って上方に持ち上げる」こうすることで枝を傷めることなく簡単に収穫することができました。手のひらに乗せて第一声「おもっ！重たい！」何という存在感なのでしょう。大袋を取ると、果皮の鮮やかな黄緑色が目に飛び込んできました。「美しい〜」
 皮を剥いてみると、透明感のある純白の果肉から溢れ出る果汁、ベタベタになった両手が甘さをしっかりと物語っています。
 大きく口を開けて待ちに待った一口目。「うわっ-(o°Д°)果汁に溺れる！」
 シャリシャリという食感の良さ、爽やかな甘みとほのかな酸味とのバランスが素晴らしい。止まらない美味しさにあっという間に完食。

▲瑞々しい果肉が
 たまらない



梨狩りの良さは、自然の中で収穫体験ができることはもちろん、収穫の直前まで木から栄養を蓄えた果実を“一番良い状態”で“その場で食べる”ことができるということですね。ぜひこの感動を多くの人に味わって欲しいなあ。お土産用の梨も吟味して収穫。大きくてカゴに収まらない程の4L~5Lばかりのスペシャルセットとなりました。やっぱり東郷梨は最高！皆様もぜひお出かけください。

●梨狩り体験料●入園は無料です。お買い物・見学もどうぞ♪
 個人のお客様 大人(中学生以上)1,000円 小人(小学生)900円
 ※団体のお客様(20名以上)は各料金の100円引きです。

●お問合せ・申込・直売●

山陰のフルーツガーデン波岡園(なんぜきえん) 営業時間 8:00~17:00
 Pあり無料 バスも歓迎 〒689-0725 湯梨浜町別所 818-7 TEL(0858)32-1821

★8月20日頃~9月中旬まで露地の二十世紀梨の梨狩りが始まります。

直売・進物用も全国発送いたします。直接波岡園にお出掛けいただくか、お電話でもご注文を承っております。お客様よりご入金→確認→発送書留・着払いでもOK。お気軽にお問合せください。

自分で選んだ
 自信作!!
 カゴに入りきら
 ない大きさです



▲売店では梨の直売・進物用の
 全国発送をしています。



伯耆国一ノ宮 倭文神社 安産お守り

◆安産の神として古くから信仰のある伯耆国一ノ宮倭文神社(湯梨浜町宮内)に新しい“安産のお守り”が出来ました。袋はピンクと白を基調とした可愛いちりめん生地で、通常のお守りよりも小ぶりで身に着けやすく、丸みのあるフォルムがとてもキュートな仕上がりとなっています。
 本来、お守りというものは持っているだけで願いが叶うというものではなく、願いが叶うよう努力する姿をそれぞれの神が見守ってくださるというもの。コロナ禍で、最近では戌の日の安産祈願も代理参拝が多い傾向にあるそうですが、安産で母子共に無事に出産を終えることができるようにという願いは同じ。合わせて安産のお守りをご所望の方が多いとのことですが下照姫命が見守ってくださることでしょ。倭文神社が安産の神として信仰がある理由の一つとして、参道のそばに「安産岩」と呼ばれる岩があり、伝説が残されています。



その昔、難産に悩む一人の女性がおり、倭文神社に100日間安産祈願のお参りをしました。雨の日も風の日も雪の日も、一日も休むことなく祈願を続け、ようやく100日を迎えました。するとその夜、夢枕に下照姫命が現れにっこりと微笑まれたのです。女性は願いが叶ったのだと大変喜び、翌朝また神社へお参りをしました。しかしその帰り道、この大岩のたもとで急に産気づき動けなくなってしまったのです。するとまた下照姫命が現れにっこりと優しく微笑まれると・・・スルツと(*´▽`*)玉のような赤ちゃんが産まれたということです。
 このことから人々はこの岩を「安産岩(あんざんいわ)」と呼び、大切にお祀りする



▲安産お守り
 1つ800円

ようになったということです。

よく見ると、岩肌に縦線が多く見られますがこれは“岩を削り取った跡”で、安産岩を削ったものを煎じて飲むと安産になると言われています。本当かどうか(*´▽`*)お試しあれ。

★こんな素敵なお守りもあります★



無患子御守り(300円) 冬の期間、倭文神社拝殿横のムクロジを拾って種子を取り出し、洗って乾燥させた後、和紙に包み、安産の御祈禱を受けた倭文神社にしかないオンリーワンの御守りです。



▲倭文神社育ちの
 無患子御守り 1個 300円

とんぼに似ているということから、年始のお正月遊びに用いられ「子どもが一年間健康で過ごせますように」という無病息災の願いが込められているのです。



その他、東郷湖で捕れるしじみの貝殻に可愛いちりめん生地を縫い付けた「招福貝(開)運御守り」600円も人気です。もちろんコチラも手作り♪安産祈願はもちろん、御祭神七柱の神がきっと私たちにそれぞれの見守りをしてくださいます。さあ、地域の身近な寺社仏閣に心を添えてお参りしてみませんか。

感染症対策 サーマルカメラ導入 はわい温泉 望湖楼



◆はわい温泉望湖楼では、新型コロナウイルス感染対策として、ご来館されるお客様へ玄関にて検温と手指の消毒を行ってまいりましたが、この度 検温の手間や時間等を大幅カットし非接触で測定できるサーマルカメラを導入しました。

玄関にて手指消毒をしていただきモニター前に立つと、上部に設置されたカメラがその人の発する赤外線を一瞬で感知し、その強弱を色で表現してサーモグラフィーに出力し表示するという仕組みです。フロント内のモニターにも接続されており 37.5 度以上を感知すると警告音が鳴り、光ります。(その場合はスタッフがお声かけさせていただきます)

もちろん体温測定だけでは陰性・陽性を判断することはできませんが、サーマルカメラ設置により感染リスクを減らし、早めの感染予防対策、安全対策に威力を発揮してくれます。はわい温泉・東郷温泉の各旅館に於いても新型コロナウイルス感染症への対応について厚生労働省、観光庁からの周知・ガイドライン等に従い、

アルコール消毒の設置、マスクの着用、手洗いなどの感染症予防対策に努め、従業員の安全を守りつつ、お客様に安心してご来町・ご宿泊していただける環境づくりに努めております。引き続き皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



▲このカメラによって一度に多くの人を検温できます。



「打吹童子ばやし」今滝にて迫力の演舞披露 (太鼓・笛グループ)

◆厳しい残暑が続く中、観光客や地元の人々が涼を求めて訪れる場所が湯梨浜町の森林内にあります。その名は「今滝」(湯梨浜町北福)

落差 44m、三方を囲む絶壁の一角から水が落下する姿は壮観で、周辺より気温が低いことから特に夏場は多くのお客様で賑わい、湯梨浜町観光協会では平成 18 年から着地型観光プランとして迫力ある滝のロケーションと共に地元素材を使用したお食事が楽しめる「滝床料理プラン」も実施しています。

そんな今滝で、8月20日(木)子どもたちの笛と太鼓グループ「打吹童子ばやし」による迫力満点の演舞が披露されました(*'ω*)o)

「打吹童子ばやし」は、打吹山を仰ぎ、その城下町として栄えた倉吉市に伝わる天女と童子の物語を「打吹童子ばやし」として、子どもたち(童子)の打つ吹く太鼓と笛の音で伝えていこうと 1992 年 7 月に誕生し、設立から多くのイベントや舞台上で活躍をされています。

しかし、コロナ感染拡大を受け、イベントは軒並み中止となり様々な発表の場がなくなりましたメンバーたち。

村田速実代表は「こんな身近に心癒される場所があることを知り、この自然と一体になって演奏ができたのならどんなに素晴らしいことだろう。子どもたちに夏の思い出を作ってあげたい」とメンバーに今滝での演奏を提案したところ「やりたい!」と力強い返事をもらい、何度か下見に出かけられ、湯梨浜町観光協会と協議しながら実現したものです。

楽器等の搬入、打ち合わせ、リハーサルを終えいよいよ迎えた本番。

迫力ある今滝を背に真剣な表情を見せるメンバーたち、辺りは水けむりが立ち込め 岩肌に響き渡る勇壮な太鼓の音に、偶然居合わせた観光客の皆さんも思わず息をのむほど(//▽//)

滝の神様 竜王不動明王に奉納した太鼓によりコロナ収束を願うばかりです。

演奏が終わり片付けを済ませると、メンバーは キリリと凛々しい表情から一変、滝つぼでの水遊びに無邪気で可愛い表情を見せてくれました。(元気だね~)

滝と太鼓のコラボレーションは最高! 打吹童子ばやしの皆さん、勇気と感動を本当にありがとうございました。



<お申し込みは湯梨浜町観光協会まで>



個人のお客様/4名様~
ご予約は 7日前までに
<滝床弁当プラン>
左滝床弁当&汁物付 1,600円(税込)
右レトロモダン弁当 1,700円(税込)
(ペットボトルお茶付)



◆今滝駐車場(大型バス2台、自家用車10台)から滝つぼまでは徒歩200mマイナススイオンたっぷりの散策コースです。雨上がりは足元が滑りやすくなりますので、歩きやすい履物でお越し下さい。

※駐車場から150m先にトイレがあります

◆環境保護のため、ゴミの持ち帰りにご協力いただきますようお願い致します。

◆生モノの持込はご遠慮ください。

◆雨天の場合は仕出し店での食事となります。

◆ご利用日、人数、料理プラン、食事開始時間、代表者、ご連絡先等を明確にお電話・FAXにてお申込下さい。その他お気軽にご相談下さい。

【申込/問合せ】湯梨浜町観光協会(0858)35-4052

まちの花 (湯梨浜町) トウテイランが開花

◆湯梨浜町のまちの花になっている「トウテイラン」が8月上旬から見頃を迎えました。トウテイランは、「ラン」という名前が付いていますが蘭の仲間ではなく、ゴマハノグサ科ルイトラノオ属の多年草(宿根草)で、環境省と鳥取県では絶滅危惧Ⅱ種に指定されるほど世界的にも大変珍しく、「隠岐の島(島根県)」「近畿地方北部の日本海側の海岸(京都府)」「湯梨浜町橋津(鳥取県)」に稀に自生する日本固有の乾生植物です。

群落は小さく、個体数も限られ、そのままでは増える状況にはないことから湯梨浜町では、トウテイランの自生群落を町の天然記念物に指定し、町の有志が積極的に保護活動を行っています。1つの花は小さく約1cm、長さ10cm程の穂状花序

(すいじょうかじょ)に、淡い青紫色の花が下の方から順に咲き上がり、秋には小さな実をつけます。

その花は中国湖南省の洞庭湖の瑠璃色の水のように美しいということから「洞庭藍(トウテイラン)」という名前がついたそうです。

葉にも特徴があり、全体が白い綿毛で覆われ、花が咲かない時期でもカラーリーフとして人気があるようです。

花言葉は「汚れない心」。これからも毎年美しい花が見られるといいな(*・ω・*)

自生地域はもちろん、公園や個人宅の植物を摘み取る行為がないようにみんなよろしくね♡



▲個人で植えたトウテイラン
(写真は自生地域ではありません)

タマノカンザシが見頃です!! あやめ池公園/湯梨浜町藤津

◆湯梨浜町藤津のあやめ池公園でタマノカンザシが見頃を迎えます。

純白の大輪、上品な香り、艶のある大きな葉が特徴のタマノカンザシは大変人気で「ファン」も多いようです。毎年、公園内の「タマノカンザシ通り」での観賞が定番となっていました。今年も公園内北側にも植栽され、より一層華やかさを増しています。

タマノカンザシは中国原産の多年草で、ユリ科ギボウシ属、日本へは江戸時代中期に渡来

したといわれ丸く大きな蕾は日没から夜にかけて1、2輪開花し、翌日の午前中にはしぼんでしまうという何とも儂く神秘的な花なのです。

花言葉は「静寂」「沈静」「静かな人」。

あやめ池公園は、四季折々に移り変わる花の表情や、池に遊びに来る水鳥や

昆虫などを観察できる自然豊かな癒しの空間(◡̈*)

散策に、ウォーキングにぜひお出かけください。



<問い合わせ>東郷湖羽合臨海公園あやめ池スポーツセンター
(0858) 32-2189 公園内P無料

泊漁港「夏のおもいでモニュメント」涼しげな浴衣姿に

◆6月27日(土)に除幕式を終えた泊漁港の新名所「夏のおもいでモニュメント」の2体が、8月初旬 涼しげな浴衣姿を披露しました。日本を代表する彫刻家 吉野毅氏の制作で東京麹町4丁目交差点の「夏の思い出」ブロンズ像のように四季を通じて地域の人々に愛され、親しまれるようにと 宮脇正道湯梨浜町長が、地元で町民ミュージカルの衣装を手掛けた三津国さんに声をかけ実現したものです。男の子の名前は「ヨンデル君」、女の子は「ヨンデルちゃん」で、人や愛を「呼んでる」の意味が込められています。女の子は流行りのミニ丈の花柄浴衣にヒマワリをあしらった麦わらぼうし、男の子はとんぼ柄の浴衣にキャップとうちわが夏らしい雰囲気です。

三津国さんによると、お孫さんの浴衣をリメイクして2体に着せているのですが、腕が通らないためとても難しく、最後の仕上げはこのモニュメントの前。

本当の子どもに着せてあげるように優しく着付けていきました。

注目したいのは男の子が斜め掛けしているレトロな虫かご。

松崎の「梅や」が昔おもちゃ屋さんだった頃の虫かごが自宅にあったことを思い出し、浴衣にぴったりだとブロンズ像の男の子に貸してあげたのでした(◡̈*)

今後も湯梨浜町の行事や季節にぴったりのコスチュームにお召替えされる予定です。

漁村の原風景に合ったヨンデル君とヨンデルちゃんをこれからもよろしくお祈りします。



湯梨浜町 PR 大使 谷本耕治

★湯梨浜町出身歌手谷本耕治さん 全国で活動中! スケジュールや近況、温かく人情味溢れる耕ちゃんのプロログ「人生相場」は要チェックだよ!

<https://ameblo.jp/koji-tanimoto/> (問合せ) タニテツプロ合同会社 TEL/FAX 03-3361-3455

